

第2章 特別講演

シーニックバイウェイ北海道・日本風景街道による 地域活性化

オフィス・ウスイ代表/NPO 法人日本風景街道コミュニティ
理事

臼井 純子

2章 特別講演 シーニックバイウェイ北海道・日本風景街道による地域活性化

(オフィス・ウスイ代表/NPO法人日本風景街道コミュニティ理事 白井純子)

シーニックバイウェイ北海道・日本風景街道
による地域活性化

2019年12月3日

オフィス・ウスイ 代表
シーニックバイウェイ北海道推進協議会ルート審査委員会委員
北陸風景街道アドバイザー
NPO法人日本風景街道コミュニティ理事
白井 純子

日本風景街道

理念・目的

日本風景街道は、多様な主体による協働のもと、道を舞台に、風景や自然、歴史、文化など地域ならではの資源を活かした活動を促進

- ★地域活性化への寄与
地域の歴史、文化、伝統の継承、観光など世代間交流を通じたコミュニケーションの再生・促進等
- ★観光振興への寄与
地域資源、活動の情報発信や実訪客を惹きつける工夫等
- ★美しい国土景観の形成
自然景観の改善、歴史的まちなみの保全等

有機的につなぐ仕組み

日本風景街道の要素

- ・全国に運動を広げる
- ・多様性を確保する
- ・質の向上
- ・継続的な運動

日本風景街道 (Scenic Byway Japan)

■平成19年度末登録	93ルート
■平成31年3月18日現在	142ルート

北海道	13ルート	近畿	19ルート
東北	20ルート	中国	9ルート
関東	18ルート	四国	15ルート
北陸	11ルート	九州	15ルート
中部	20ルート	沖縄	2ルート

皆様、こんにちは。白井と申します。よろしくお願いたします。

きょうは、「シーニックバイウェイ北海道・日本風景街道による地域活性化」と題しまして、シーニックバイウェイ北海道・日本風景街道の取り組みについて御紹介させていただきながら、地域活性化において何が一番大切かというお話をさせていただきたいと思っております。

御存じのように日本風景街道というのは、地域活性化への寄与とか観光振興への寄与、美しい国土景観の形成ということも念頭に置きまして、いろいろな風景や自然、歴史、文化などの地域ならではの資源を生かした活動を促進しております。

この要素といたしまして、全国に運動を広げること、多様性を確保すること、それから質の向上、継続的な運動、こういったものを念頭に活動しております。日本風景街道は、最初、平成19年度末の登録は93ルートでしたが、現在は142ルートになっております。北海道13ルートから始まって沖縄の2ルートまでです。私自身は北海道の13ルートと北陸11ルートにつきましては、立ち上げのときからずっとかわらせていただいております。

日本風景街道の経緯

- 平成19年4月20日に全国風景街道戦略会議より提言「日本風景街道の実現に向けて」
- 9月10日より、「風景街道地方協議会」で募集
- 全国で91ルートが登録→本格始動へ
- コシノジュンコ氏の作成によるロゴが決定
- 平成24年認定ルート→全国で127ルートが登録
- H24年6月、社会資本整備審議会道路分科会基本政策部会で「今後の道路政策の基本的方向」について取りまとめに明記される。

日本風景街道の経緯というのは、平成19年の4月20日に全国風景街道戦略会議によって提言がございまして、それからいろいろな形で本格始動が始まり、ロゴができという形でやっていますが、127ルートが登録した平成24年からちょっと一時的に活動が停滞しているところもございました。ただ今は、温度差はございますが、それ

ぞれの地域でそれぞれに頑張っております。なぜそう言えるかといいますと、もともと日本風景街道に参加していらっしゃる活動団体というのは地域をよくしたいと思って活動していた活動団体が多いんですね。ですから、風景街道という冠があろうがなかろうが、それに関係なくこの地域を守っていこう、この地域を子供たちのため、それから孫のためにどうやって生かしていくかということを考えながら活動している団体でございますので、そこに風景街道の冠がついたことによってより活性化したところもございますし、また継続していくための後継者がいないということで非常に悩んでいるところもあります。そういう意味では全国において温度差がいろいろありますが、これから御紹介させていただきます北海道は先進地でもありますし、最初に風景街道というものの概念を導入して成功しているところでございます。

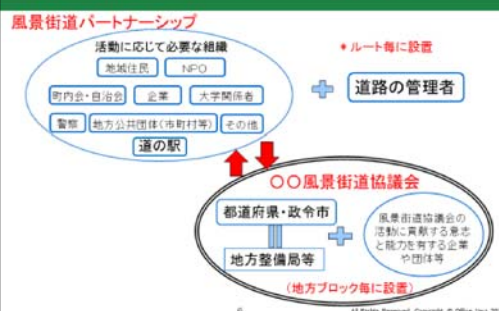
日本風景街道の取り組み

- 1) 地域資源の発掘
埋もれている古道や歴史的建物を活かす
- 2) 景観・自然を楽しむ場づくり
いい風景でもてなす舞台づくり
- 3) 祭り・イベントの実施
楽しむ場、交流の場として道路を活用
- 4) 風景・環境の改善
標識、看板などの改善、沿道環境の維持管理など

風景街道の取り組みとしては地域資源の発掘、景観自然を楽しむ場づくりだとか、祭りイベントの実施、風景、環境の改善といろいろございまして、こちらに関しましては、シーニックバイウェイ北海道の取り組みの具体的な様子をごらんに入れて御理解をいただきたいと思っております。

風景街道パートナーシップと風景街道協議会というのがございまして、これが両者にわたって道路の管理者とともに風景街道を形づくっております。風景街道のパートナーシップは活動に応じて必要な組織として、地域住民、NPO、町内会自治会、それから企業、大学関係者等々ございまして、最近入ったのは道の駅です。今まで道の駅と

風景街道パートナーシップと風景街道協議会



風景街道は結構様々な活動をしておりましたが、ここに来て道の駅と連携して、さらにいろいろな活性化を図っていこうという形になっております。

取り組みの背景

- >「道の駅」人気、スタンプラリー応募5万人！（1993年～）
～ドライブ観光の地域経済への波及効果
- >北海道総合開発計画の策定（1996年）
～北海道が全国に先駆けてできることは景観と観光！
- >北海道観光が団体型から個人型へ（2000年頃）
～レンタカー需要の増大（一般国道網の整備、道の駅の充実等）
- >人口減少、高齢化と沿道環境の荒廃（休耕田、シャッター商店街等）
～地方部の活力衰退と景観の荒廃
- >米国シーニックバイウェイ（1990年代～）
～地域発案、地域主体。行政は黒子でBackup
ルートコーディネーターの存在
- >様々な地域活動の増大
～植樹、花植え、清掃活動などNPO、VSPの拡大

© All Rights Reserved, Copyright © Office Use 2013

さて、風景街道のお話をする前に、本当でしたらシーニックバイウェイ北海道のお話をしないと いけません。なぜかというシーニックバイウェイ北海道が最初に日本に導入されたからです。取り組みの背景といたしましては、道の駅が人気になってスタンプラリーとか何かが非常に盛んになっていったわけです。北海道で特有のドライブ観

光というのは地域経済への影響が非常に大きいということがわかりました。また、北海道総合開発計画におきまして、北海道がほかのところと比べて先駆けてできることは何なの という形になったときに、ドライブ観光と地域住民との活動をつないでいく風景街道シーニックバイウェイという取り組みがあるのではないかと形になりました。

北海道の観光、昔は皆さん団体で参りました。それがだんだん個人の方たちが、みずから飛行機を手配してレンタカーを借りてという形で来る方たちがふえてまいりました。同時に人口減少は続いております。高齢化、それから沿道環境が非常に荒れてきているわけです。廃屋もいっぱいありますし、荒れ放題になっている道路脇の道とか、そういったところをなかなか整備するといっても全部手が回るわけではありません。休耕田だとかシャッター商店街、こういうところをどうしていくかというのも課題となってまいりました。

当時、アメリカでシーニックバイウェイという取り組みが盛んに行われていました。これは地域の発案で地域が主体となって、行政はあくまで黒子でバックアップするというスタイルです。ルートコーディネーターという方がいらっしゃるまして、そのルートが一生

懸命いろいろなことをやるときに支援していくような人たちは必ずいるという、そこが特徴でございました。さまざまな地域活動は地域によって、例えば植樹だとか花植えだとか清掃活動、いろいろなNPOだとかVSPがいろいろ拡大して行われていました。ただ、それをつないでいるという形は全然なく、みんな個々ばらばらに行っていたわ

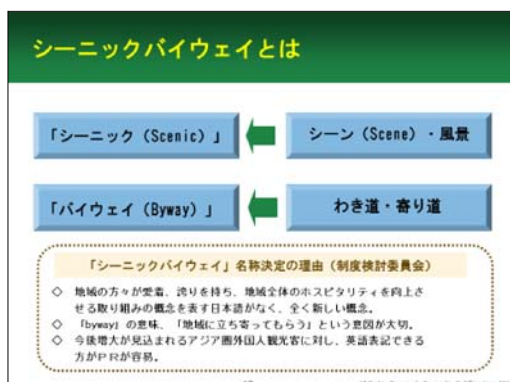
**2002年度国土交通省重点施策として
取り組むことに決定！！**

景観道路を指定へ
北海道庁
2001年9月21日

© All Rights Reserved, Copyright © Office Use 2013

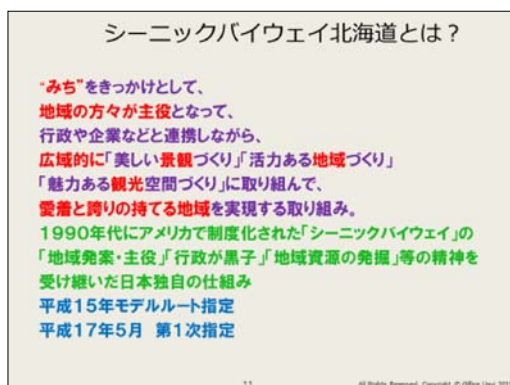
けです。そこで、2002年、国土交通省の重点策として取り組むことに決定いたしました

た。北海道でのドライブ観光をより快適にするために景観道路を指定しまして、それをシーニックバイウェイ北海道という形にいたしました。



シーニックバイウェイとは、シーニック、シーンですね、風景という意味になります。それから、バイウェイ、寄り道、脇道です。本来、シーニックバイウェイという英語そのものを持ってくるときに、日本風景街道というのは日本でつくられた名前です。シーニックバイウェイというのを北海道はそのまま生かしました。なぜならば、シー

ニックバイウェイという言葉を使うことによって英語表記が簡単にできると。あと、グーグルなんかで検索したときに、アメリカのシーニックバイウェイと同時に北海道のシーニックバイウェイも出てくるんですね。そういう意味では日本風景街道もシーニックバイウェイジャパンという形で英語表記ができるようになっていきますし、そういう意味で日本の方だけではなく海外の方にもこのシーニックバイウェイというのを知っていただく、アメリカの方にも来ていただきたいという思いがございました。



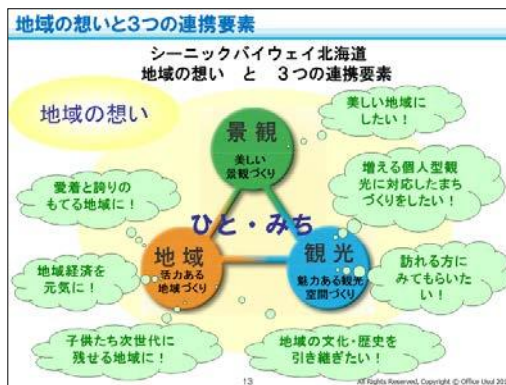
シーニックバイウェイ北海道とは、道をきっかけとして地域の方々が主役となって行政や企業などと連携しながら、広域的に美しい景観づくり、活力ある地域づくり、魅力ある観光空間づくりに取り組んで愛着と誇りの持てる地域を実現する仕組みと、こういう仕組みを取り入れたわけでござ



います。これは1990年代にアメリカで制度化されたシーニックバイウェイの地域発案とか、それから行政が黒子、地域資源をどう発掘していくか、こういったものを勘案した日本独自の仕組みでございます。もともとアメリカにあったものをそのまま輸入するという形はできませんので、そこから北海道独自のオリジナリティのあるもの

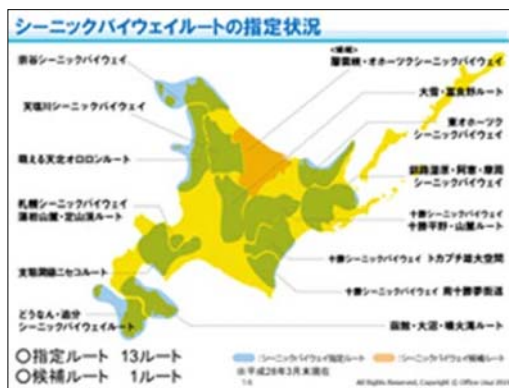
という形で平成15年のモデルルートを指定し、平成17年5月に第1次の指定がござい

ました。アメリカのシーニックバイウェイというのは、ちなみにオールアメリカンロードという27ルートと、ナショナルシーニックバイウェイという98ルートがございます。私もこのシーニックにかかわっている中で3回ほどでしたか、アメリカに行って実際にシーニックのところを走ってきて、日本とアメリカの違いだとか行政のかかわる役割だとか地域住民の方たちがどんなことをやっているかというのをつぶさに調べて、日本に帰ってきてそれを日本のやり方にどう生かせるかということに参加させていただきました。



シーニックバイウェイ北海道の地域の思いと3つの連携要素という形なんです、3つの連携要素は景観と観光と地域です。この人と道でこの3つをつなぎながら地域の思い、例えば愛着と誇りの持てる地域だとか、地域経済を元気にしたい、いろいろございますが、やはり生き延びていって将来にもある道、それから将来にもある地域でい

られるために何をしていくかということを考えていくというのがシーニックバイウェイ北海道でございます。



現在、シーニックバイウェイルートはこのような状況になってございます。指定ルート13ルートで候補ルート1ルート、候補ルートは先だって視察を行ってまいりまして、今回指定ルートになると思われま。

シーニックバイウェイ北海道の連携イメージということで、先ほども申し上げましたが、地域主体は活動団体です。活動団体にはいろいろなところがございます。地域の人々もいれば行政もございます。観光協会が入っているところもあります。ルートによって全部違います。ただし全て共通なことは、ルート自体が発案して、ほかのところと連携して、実行するのルートです。それを行政が、いわゆる国土交通省がどういふふう



ていくかという中で一番肝心なのは資金の支援がないことです。これ一切お金は出ていま

せん。知恵は出す、それからボランティアでいろんな助けはする、でもお金は出ないよと。それをわかっていた上で、地域のためにやっているのがこのシーニックバイウェイなんです。

ですから、シーニックバイウェイ全体として、シーニックバイウェイ北海道として、例



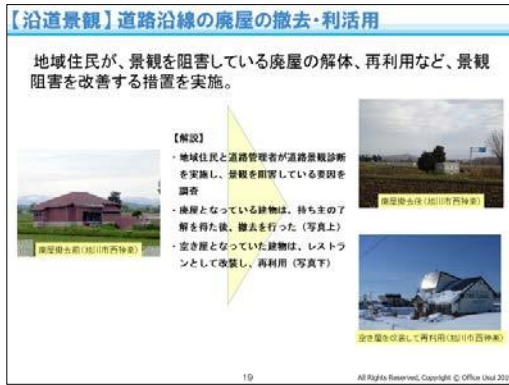
えば民間団体と連携をする。例えばこの後御紹介しますけれども、ホテルと連携したり日本ハムファイターズと連携したり、いろんな取り組みのきっかけをつくることは行政のほうでもできますけど、直接的に資金を与えるとか補助金を出すという形は一切しておりません。ですので、私がこの後また御紹介させていただきますが、地域においてお金を稼ぐということはどういうことなのかというのがやっぱり肝心になってまいります。



ここで、シーニックバイウェイ北海道の取り組みを幾つか御紹介させていただきたいと思います。まずは景観づくりです。地域住民と連携した景観診断をこうやって机の上で行って、実際に現地調査をしたりして、その中で道路景観で、例えば小型化、集約化したりするべきものは何があるのか



とか、それから標識を小さくしたり見やすくしたり、それから実際に矢羽根を撤去したりとか、いろんなやり方をとっております。とりわけ収納式の防雪柵に関しましては景観を邪魔するということで、ここで写真を撮るととってもいいよねというような場所に対してはできるだけ収納式のもの



に変えてみるとか、地域住民が景観を阻害している廃屋の解体、再利用、景観阻害を改善する措置を実施、これは実際に、ここの看板を取ってほしいよねというところがあったときに、地域の住民の方たちと行政が一緒になって地権者のほうに話に行き、何とかこの看板を撤去してもらえないかと、撤去する費用を両方で折半して出して行く

と。そのかわりここの景観がよくなると、ここでビューポイントができるから皆さんがとまって写真を撮ったりするような、そういう場所を設けて、さらに皆さんに来ていただけるような形にしようではないかというようなこともやっております。



ビューポイントパーキングの整備、もう各所にビューポイントパーキングが整備されていますが、ここをごらんになってわかるように、こういうような形で実際にとまって写真だとか何かで冬の様子がわかったりとかいろいろな形で、さらにリピーターを促すようなことをやっております。



地域の景観を生かす取り組みとして、冬のオホーツクは流氷景観を生かす取り組み、ガードレールにたまった雪の除雪です。これは除雪ボランティアを通して実施しています。除雪ボランティアをやってくださっている方たちはシーニックバイウェイのルートの方たちです。ボランティアですからドライブ中の車窓から流氷が来ているのに見えないとかなんとかいろいろなお声が出てきても、それはほっといたら絶対見えないんですね。だから一

生懸命になってこのところの除雪をして非常にきれいになります。そうすると走っているだけで向こうに見える流氷がとても美しく感じられて、ああ、ここで本当にこちらに来たんだな、オホーツクに来たんだなという実感を味わえるようになっています。



ほかにもシニックカフェというのがございます。シニックカフェちゅうるい、十勝ヒルズとかいろいろところで、パラソルを立ててテーブルと椅子でコーヒーを出したりとか、最初はコーヒーを出すのもいろいろ保健所の許可が要るとかいろいろなことがありましたので、もうただでボランティアで出して志という形でお金をいただくような形もしたんです。



でも、だんだんにいろいろなところで、例えばシニックカフェちゅうるいの南十勝の夢街道ではお金もとれるようなこともやりますし、ここで昭和の、この右の写真を見ていただくとわかるんですが、フォークソングをずっと歌いだすという、皆さん全員で合唱するんですから、ちょうど周りの

のところはこんな景色なので、こんなところでこんな歌を歌って、何て気持ちいいんだろうというのを味わえるわけですね。これなんかは本当に北海道に来てからこそできるような体験型の楽しみ方ではないかなというふうに思われます。



ほかにもベストシニックバイウェイという形で、毎年毎年表彰制度がございます。2010年からずっと表彰制度があり、いろいろな形で表彰されて細かいことはございますけど、



今回は2010年のヒラメ底建網オーナーの遠別というところでやったヒラメ漁についてのお話をさせていただきたいと思います。これは私も自分で行っています。6月のたしか第3土曜日か日曜日だったと思いますけど、毎年決まっています。いらっしゃりたい方はホームページをご覧ください。そうすると萌える天北オロロンルートの中で

遠別でヒラメの底建漁が行われて、その中で、実際にこうやってその当時情報刷新サイトがあって、3つの船の船長さんからイケメンの船長さんを自分で選んでそこに1万円お支払いするわけです。実際に行くと、オーナー制度ですからオーナー登録証をいただきます。実際にこうやってヒラメを釣っている様子を、があつと釣るんですが、その近くまでは遊覧船で行って見ていることも可能です。どしゃ降りというか、びしょぬれになりながら見ていると非常に臨場感があります。帰ってきてそのヒラメをみんなで山分け、順番で、

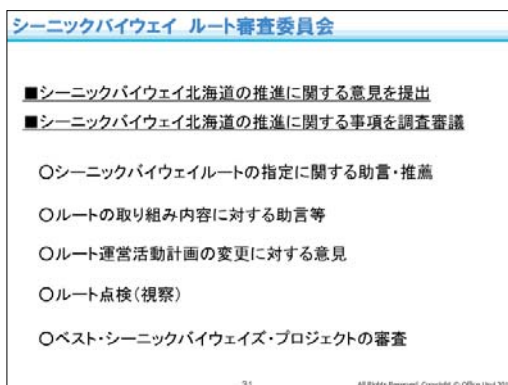


2.5キロのヒラメを2枚もらいました。もう持って帰るのが大変だけど、その場ですぐ締めてくれて家のほうに送ってくれたりとか、私は1匹を札幌まで持って行って、おすし屋さんに半分寄附するから半分さばいてと言ってそこでヒラメのおすしを食べさせてもらいましたけど、もう新鮮も新鮮でいいところで、とてもおいしくいただきました。

実際にここに来ていたのは京都から来ている方もいましたし、九州から来ている方もいました。お昼は焼きおにぎりとホッケをみんな備長炭で焼いてバーベキューをしてくれて、もう1日のイベントになります。ヒラメ以外に一緒に釣れた魚は皆さんどうぞお持ち帰りくださいという形になるので、札幌から来ている方はクーラーボックスを持ってきていろんなものを詰めて帰りましたから、一万円払っても全然高くないと。こんなオーナー制度を毎年1回やっています。

このオーナー制度のポイントは、それまで青年商工会議所の人たちと漁協さんというのは全然つながりがなかったんですね。漁業組合さんに参加してもらうためにはやっぱりいろいろ話し合いが持たれて、この地域のためにここにとってプラスになることをしてみたいからということで説得して、それが功を奏して漁協さんが参加してくださり、一回目

まず試しにやってみようということになって、試しにやったら何か皆さん、船長さん、やたら人気なんですね。もう皆さんからすごく喜ばれて、あっ、これはいい、来年からもずっと続けようという話で、いまだもってずっと遠別ではやっております。こういった形で地域の新しいイベントになっていく。当然それを知った人が日本全国から押しかけてきますし、それによっていつも決まった日にやっているの、必ずそこに行ったら外れがないという形になりますので、非常に楽しんでやれたものでございますが、これによって遠別は有名になりました。



シニクバイウェイのルート審査委員会というのがございます。シニクバイウェイ北海道の推進に関する意見を出したりとか、調査、審議をしたりする中で、新しいルート、それからルートと認定されたルートを5年に一回見直してみ、本当にそのルートは資格があるものなのかどうか、それを審査するというような

いう制度として取り組みを入れております。



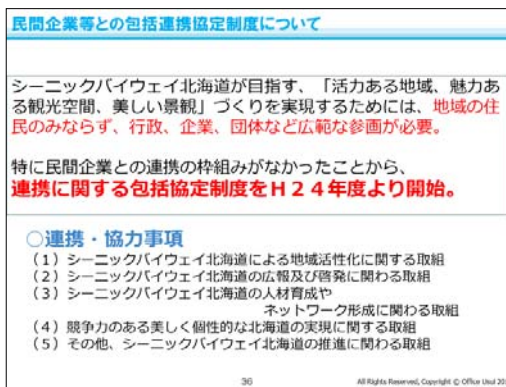
天塩川のシニクバイウェイ、ルート視察、これがそのときの現状の写真でございます。やっぱりサイクリングが今盛んでございますので、天塩川なんかは山の手で走るのが本当に北海道らしく、TEPPEN-RIDEをやっておりますので、自転車の好きな方にとってはすごくいいところだと思います。



ビューポイントパーキングだとか、レイクハウスだとか、ここが人に来てほしいんだ

と言われるところを全部見回りながら、どこがポイントか、逆にこれを見せるにはこんなふうなパンフレットの作り方をしたらいい、こういう情報発信をしたらいい、こういうことに気がついたらいいというのを審査員がいろんな形でアドバイスをしています。

1泊2日の2日目におきまして、道の駅から全てを見まして、そこで考えられる発展の仕方についてアドバイスをして小林先生、石田先生を初めとして私も入っておりますが、いろんな現地視察の状況を地元の方たちと意見交換をし、全員で写真を撮って終わったという形です。これは年に一回やっています、毎年毎年その道ができるだけ活性化させていく、停滞しないようにするにはどうしたらいいかというのを考えながら、いろんな形での刺激を与えるということをやっております。



民間企業等との包括連携協定制度について

シーニックバイウェイ北海道が目指す、「活力ある地域、魅力ある観光空間、美しい景観」づくりを実現するためには、地域の住民のみならず、行政、企業、団体など広範な参画が必要。

特に民間企業との連携の枠組みがなかったことから、**連携に関する包括協定制度をH24年度より開始。**

○連携・協力事項

- (1) シーニックバイウェイ北海道による地域活性化に関する取組
- (2) シーニックバイウェイ北海道の広報及び啓蒙に関する取組
- (3) シーニックバイウェイ北海道の人材育成やネットワーク形成に関する取組
- (4) 競争力のある美しく個性的な北海道の実現に関する取組
- (5) その他、シーニックバイウェイ北海道の推進に関する取組

36 All Rights Reserved, Copyright © Office Unit 2015

民間企業との包括連携に関しましてはシーニックバイウェイ北海道が目指す活力ある地域、魅力ある観光空間、美しい景観づくりをやるために、地域の住民だけではなく、民間企業さんと連携しながらいろいろな形で新しい試みを進めるために行っているものです。包括協定制度というのを24年度より開始しています。



これまでに包括連携協定を締結した企業

- 平成24年12月1日：トヨタレンタリース札幌、札幌グランドホテル、北海道コカ・コーラボトリング、Follow Me Japan.Pte.Ltd.
- 平成25年6月24日：デンソーセールス北海道支社、錦建グループ 阿寒グランドホテル
- 平成29年10月24日：北海道日本ハムファイターズ

37 All Rights Reserved, Copyright © Office Unit 2015

包括協定制度の流れはこんな形ですが、実際にどんなところが入っているかとなるとトヨタレンタリース札幌、札幌グランドホテル、北海道コカ・コーラボトリング、Follow Me JAPAN Pte. これはシンガポールの旅行会社です。ですから外国人のチャーター便でいらっしゃるようなお客さんに対してどんなふうにするかという形で提携しています。あと、平成29年には北海道の日本ハムファイターズとも包括連携をいたしました。



トヨタレンタリース札幌との連携取り組み

トヨタレンタリース札幌とシーニックバイウェイ北海道の連携企画（平成24年度）「シーニック・トレジャーハント」の展開

地域の魅力を発掘してもらうため、トヨタレンタリース札幌のアクアに乗り込みドライブしてもらい、シーニックバイウェイの12のドライブルートの中にある「家」にまつわる言語・家・家・歴史や文化等に関するクイズに答えたらお土産という企画。

このマップを始めるにあたって、シーニックバイウェイ各ルートを読みながら地域の魅力を発見しクイズにチャレンジした方の中から、クイズの得点が高かった上位30名様に各ドライブルートの記念土産品をプレゼント！

38 All Rights Reserved, Copyright © Office Unit 2015

トヨタレンタリースなんかだとシーニック・トレジャーハントとかスタンプラリーとかトヨタレンタリースと一緒にいろいろなイベントをや

っていく。また、札幌グランドホテルではシーニックの食ですね、おいしいところばっか

りですから、せっかくですのでその食を生かしてシーニックナイトというのを企画していく。

シーニックバイウェイ北海道と日本ハムファイターズとの「コラボ道の駅」について

○「シーニックバイウェイ北海道」の13ルートとファイターズが連携した「コラボ道の駅」を新たに設定！
 ○毎年4万人以上が参加する「道の駅」スタンプラリー2018にファイターズ賞を設定
 ○「コラボ道の駅」でアクリルキーホルダーの販売やフォトパネルを設置
 ○グッズ販売収益の一部はシーニックバイウェイ北海道の活動に

→ 4/21発売を開始、5/1時点で9つの道の駅でアクリルキーホルダーが完売

コラボ道の駅 限定の特別企画

ファイターズフォトパネルが登場！

全10種類の限定フォトパネルを、道の駅で販売中！
 500円(税別)
 アクリルキーホルダーも販売中！

●平成29年8月北海道開発局と北海道日本ハムファイターズは、「平成28年北海道豪雨災害」の復旧応援セレモニーの開催で連携。
 ●平成29年10月には『シーニックバイウェイ北海道推進協議会』と株式会社北海道日本ハムファイターズとの包括的連携と協力に関する協定を締結。

それから、日本ハムファイターズにしたらコラボの道の駅とか、そういった形でいろいろな試みをして、シーニックバイウェイ北海道の知名度を上げると同時に、いろいろな企業に対して新しい可能性を提供しております。

シーニックバイウェイ北海道と日本ハムファイターズとの「コラボ道の駅」

シーニックバイウェイ指定13ルート×13駅

宗谷シーニックバイウェイ
 天塩川シーニックバイウェイ
 積える天北オロロルート
 札幌シーニックバイウェイ
 支庁連続ニセコルート
 函館・大沼・噴火湾ルート
 どうなん・道分シーニックバイウェイ

大管・喜茂野ルート
 東オホーツクシーニックバイウェイ
 釧路温泉・阿寒・摩周シーニックバイウェイ
 十勝シーニックバイウェイ
 十勝平野・山羅ルート
 十勝シーニックバイウェイ
 トカプ子城大空間
 十勝シーニックバイウェイ
 南十勝夢街道

日本ハムファイターズのコラボの道の駅というのはシーニックバイウェイ指定13ルートかける13駅ございます。ですから何かしようとしたときにはこんなふうな形で道の駅もシーニックバイウェイも全部含めて連携していくことができるという形です。

シーニックバイウェイ北海道と「道の駅」連携

観光庁 風景街道と連携している「道の駅」

景観の優れた観光資源の保全・活用による観光地の魅力向上

日本風景街道のルートである「東オホーツクシーニックバイウェイルート」(網走市・大沼町・小清水町・洞爺町・美幌町・斜里町)内に存在するシーニック道の駅利用によるルート内環状観光客増加。

○世界遺産知床への玄関口である道の駅「うらろ・シリエトウ」で販売していない斜里町近隣市町村の優れた特産品を集めた物産の販売。
 ○エゾシカの串焼き等その場でしか提供できない、その地域らしいメニューを提供する「シーニック・マルシェ」を開催し、地元で定評のある特産品を提供したことで、観光客はもとより地元近隣市町村からのリピーター増加。
 ○東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議の活動PRや電動アシスト自転車の貸出しによる道の駅周辺の周遊促進等も実施。

ポイント

- 道の駅でしか買えない特産品と季節限定メニューを堪能
- 道の駅でしか買えないメニューを堪能
- 東オホーツクシーニックバイウェイルート内にあるシーニック道の駅
- 観光客のルート内環状観光客増加

シーニックバイウェイ北海道と道の駅の連携というのは観光庁、風景街道と連携している道の駅という形で御紹介なんかもさせていただけるようになりましたが、昔はまだシーニックバイウェイと道の駅というのはそれぞれ別れておりました。ただ、同じ道の中に道の駅があるわけです。道の駅と道が連携しないで何になろうということで、今いろいろな取り組みをしております。

シーニックバイウェイ北海道と「わが村は美しく」の連携

ポケットパーク(しれとこ・ウトロフォーラム21)

活動概要

活動に登場の経緯

地元でとれた地産産品を持ち寄り、地域の人が集まる(話す)場を提供することによって農山漁村の発展に寄与することを目的に、シーニックバイウェイわが村の活動が連携に繋がった。

わが村の活動は、地元でとれた地産産品の収穫・加工で販売

シーニックバイウェイ北海道と「MIZBERING」の連携

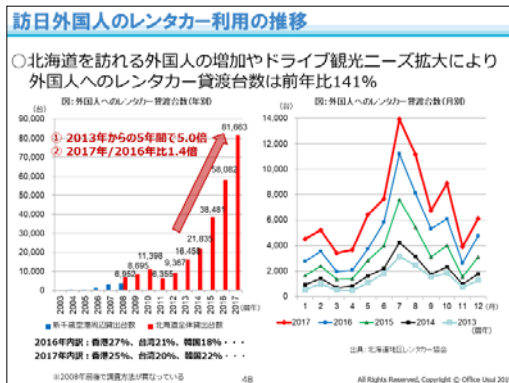
ミズベリング弟子原

今年の水辺でフイデー!

7月7日午後7時7分
 釧路川の水辺で乾杯2017

わが村は美しくという、これは農林水産省との連携でございます。それからミズベリ

ングの連携、これは河川のほうです。国土交通省の河川のほうと連携していろいろシーニックバイウェイがやっていると。だから、どこと連携するのも自由、逆に言うとシーニックバイウェイ北海道という名のもとで、いろいろと今までできなかったことを可能性を追究していくというのがポイントになっているのではないかと思います。



訪日外国人のレンタカー利用に関しましては、相当2013年から5年間で5倍に上がっています。2017年、2016年比は1.4倍です。そのくらい観光ドライブというのは外国人のレンタカーというのはすごいんですね。中国人の方がレンタカーを借りてずっと北海道を回るといのがだんだんはやってまいりまして、何か中国語のカーナビが設置されている車が多いというふうに聞いております。



そういう方たち、先ほど御紹介したFollow Me JAPANというのはシンガポールです。外国人客を誘致、十勝に全部連れていこうと、では、レンタカーツアーでやっていこうと。そういうふうな形をやるのは日本の旅行会社だけではなく、海外の旅行会社とも連携していく必要がありますので、こういった一例がございます。シンガポールのその旅行会社は海外の人が喜ぶ食、温泉、それからルート、そういうのもよく周知していらっしゃると思いますので、それを地元の方たちに知識を提供していただけることによって、地元の方がこれからインバウンド観光をやるときの一つのヒントになっていくわけです。



平成29年度 VISIT JAPAN(VJ)地方連携事業

HOKKAIDO「道の駅」スタンプラリー・グルメ等ドライブ観光促進事業

【事業推進体制の特組み】

VJ地方連携事業「Driving in HOKKAIDO」メディア協賛推進事業（シンガポール）

<p>■協力機関（受入機関）</p> <p>北海道地区「道の駅」連絡会（道の駅スタンプラリー）</p> <p>スズメ観光（道庁観光バス（バスツアー））</p> <p>トヨタレンタリース札幌（レンタカー）</p> <p>デンソーサービス（MapQR, MAPCODE）</p> <p>北海道観光情報局（対話補助アプリ Voice Tra）</p> <p>NEICO東日本（Hokkaido Expressway Pass）</p> <p>■協力機関（現地調整等）</p> <p>A・D・K（メディア協賛）</p> <p>Follow Me JAPAN（スタンプラリー等の利用ニーズ調査協力）</p>	<p>■事務局</p> <p>シーニックバイウェイ愛媛センター</p> <p>北海道地区「道の駅」連絡会</p> <p>■調整機関</p> <p>北海道開発局（防犯機材調査）</p> <p>北海道開発技術センター（地域調整）</p>
--	--

■オペレーター

北海道運輸局国際観光課

51 All Rights Reserved, Copyright © Office Used 2018

平成29年度 VISIT JAPAN(VJ)地方連携事業

シーニックドライブマップを持って、北海道「道の駅」スタンプラリーを体験

■メディア協賛地域内の道の駅（4月30日～9月11日）

【自由】 札幌、旭川、網走、稚内、紋別、釧路、帯広、青森、秋田、山形、福島、宮城、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、和歌山、奈良、徳島、香川、高松、愛媛、高知、福岡、佐賀、大分、熊本、鹿児島、沖縄

【制限】 札幌、旭川、網走、稚内、紋別、釧路、帯広、青森、秋田、山形、福島、宮城、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、和歌山、奈良、徳島、香川、高松、愛媛、高知、福岡、佐賀、大分、熊本、鹿児島、沖縄

【自由】 札幌、旭川、網走、稚内、紋別、釧路、帯広、青森、秋田、山形、福島、宮城、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、和歌山、奈良、徳島、香川、高松、愛媛、高知、福岡、佐賀、大分、熊本、鹿児島、沖縄

千代田新聞H29.9.14 52 All Rights Reserved, Copyright © Office Used 2018

稚内と函館のモニターツアーとか、これスノーシューの体験なんていうのは非常に喜ぶわけですね。それから北海道の道の駅スタンプラリー、グルメ等の。これビジット・ジャパンでやったやつです。道の駅のスタンプラリーを体験するビジット・ジャパン。外国人にとっては非常にうれしいわけですね。

平成29年度 VISIT JAPAN(VJ)地方連携事業

「道の駅」とシーニックバイウェイが連携した観光誘導

【2017年度版の表紙とルート図】

【マップ画：全道の駅掲載】

How to Enjoy Driving in Hokkaido

50 All Rights Reserved, Copyright © Office Used 2018

認知度向上のためルートで標識等の設置

H20-12、支那商標登録二セメントにおいて、下記の4タイプを試行設置。

シーニックバイウェイ Scenic Byway Scenic Byway

276 Scenic Byway

276 Scenic Byway

H20-8に全道統一仕様「1」。

シーニックバイウェイ北海道 Scenic Byway HOKKAIDO

51 All Rights Reserved, Copyright © Office Used 2018

そういったことを考えた上で、認知度向上のため、ルートで標識等を設置しております。シーニックバイウェイ北海道という、このようにルートのシーニックバイウェイ北海道、英語と日本語の表記、シーニックバイウェイ北海道というのが最近、ルートの中で標識を設置しております。

■H29末からシーニックバイウェイのシンボルマークを道路情報板に表示可能となる（優先度の高い情報（通行止めなど）から提供を行うので、必ず提供できるものではない）

■現行の情報板は白色表示が行えないため、ハートマークを緑と白を黄色とする（ロゴマニュアルがタイプ表示に基づく）

シーニックバイウェイ HOKKAIDO

道路情報板表示例（フルカラー表示）

道路情報板表示例（白行白色表示）

道路情報板表示例（フルカラー表示）

道路情報板表示例（白行白色表示）

52 All Rights Reserved, Copyright © Office Used 2018

道路協力団体活動概要（北海道開発局札幌開発建設部管内）

法人等の名称：札幌シーニックバイウェイ麓岩山麓・定山溪

ルート運営代表者会議（平成28年12月27日指定）

指定区間：国道229号 19k+635～19k+739（北海道札幌市南区豊滝）・延長：約0.1km

業務内容：（1号業務）歩道及び除雪ステーションでの清掃（2号業務）除雪ステーションでの物販

1 歩道及び除雪ステーションでの清掃

2 除雪ステーションでの物販

【団体の概要、業務内容】

札幌シーニックバイウェイ麓岩山麓・定山溪ルート運営代表者会議は平成23年に設置され、40団体で構成。歩道及び除雪ステーションでの清掃のほか、ルート内の花植活動を実施。収益により道路の維持・管理を充実に。

51 All Rights Reserved, Copyright © Office Used 2018

平成29年度末からシーニックバイウェイのシンボルマークを道路情報板に表示します。道路標示版に表示するのはすごくおもしろいです。稚内なんかでも見ましたけど、おっとか、走っていると急にここはシーニックバイウェイと出てきますので、あっ、何だ何だみたいな形になりまして、これが全部、例えば釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイというふうに出てまいりますので、まさにドライブしている最中に道路標示版を見ただけで今どこにいるかということがわかるようになっていきます。こういったものがこれからまたどんどん増えていかれると思います。

それ以外にも道路協力団体の活動内容がございます。道路協力団体というのは最近制度としてできまして、活動団体が選ばれてそこに対して支援するわけですけど、その指定区間の間で除雪ステーションをつくる、そこまでは普通だったんですね。そこに物販とかいう形が入るようになりまして、実際に収益事業が可能になりました。これが非常に大きなきっかけとなって、実際、例えばここがございますような自動販売機を置けるだけで収益が相当変わるわけですね。この収益を何に使うかというのと、ルートの運営だとか新しいイベントの費用にしたりとか、そういう形で皆さん使っていらっしゃると思います。

道路協力団体活動概要(北海道開発局小樽・室蘭開発建設部管内)

法人等の名称:支笏洞爺ニセコルート代表者会議 (平成28年12月27日指定)

指定区間: ①国道276号 27k150~27k350(北海道紋丘郡倶知安町宇八幡)・延長:約0.2km
 ②国道276号 42k000~42k300(北海道札幌市東区豊島)・延長:約0.3km
 ③国道276号 46k400~46k000(北海道札幌市東区豊島)・延長:約0.4km
 ④国道453号 88k500~87k000(北海道伊達市大湊区三陸湯沢)・延長:約0.5km

業務内容:(1号業務)歩道及び駐車帯での清掃・除草
 (2号業務)道路の駐車帯等に無線標識を設置し、道路の利用者の利便増進に資する情報発信

支笏洞爺ニセコルート代表者会議は平成17年に設置され、23団体が構成。清掃活動・除草活動のほか、道路の駐車帯等に無線標識を設置し、道路の利用者の利便増進に資する情報発信を行う。収益により道路の維持・管理を充実。

こちらの支笏洞爺のほうも、支笏洞爺ニセコルートというのは非常に長くて、最初の千歳から入って行って支笏湖があって洞爺湖サミットのあった洞爺があってニセコがあってと非常に長いルートです。この長いルートは皆さん活動団体がすごく多いんですが、それぞれのルートの中での会議があって、なおかつ代表者会議もしながら全体として

何をしていくか、自分たちのルートでは何をしていくかというのを非常に熱心にやられているところですよ。

道路協力団体活動概要(北海道開発局網走開発建設部管内)

法人等の名称:東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議(平成28年12月27日指定)

指定区間:国道334号 30k200~33k413(北海道斜里郡斜里町ウトロ)・延長:約3.2km

業務内容:(1号業務)ガードレール部の除雪(平成30年1月下旬~2月下旬予定)
 (2号業務)「道の駅」道路施設内の屋台開催

【団体の概要、業務内容】
 東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議は平成17年に設置され、現在22団体が構成。清掃活動・植栽活動及び除雪活動の支援のほか、「道の駅」道路施設内において、屋台を実施する。収益により道路の維持・管理(除雪活動)に還元。

東オホーツクの場合はガードレール部の除雪をしたりとか、道の駅の中で屋台を開催するとか、もう今移動販売が非常に盛んなんです。日本中いろいろな地域で移動販売車の許可をとって、その移動販売車を使っていろんなものを売ったりとか何かすることによって、収益事業をするということ

ころが盛んになってまいりますので、物販というのは許可さえあればいろいろできるようになってまいります。そういう意味で、ここの屋台を開催するというのも一つの思い切ったやり方だったわけです。

道路協力団体活動概要(北海道開発局留萌開発建設部管内)

法人等の名称: 萌える天北オロロンルート運営代表者会議
(平成28年12月27日指定)

指定区間: 国道231号 3k600~3k800(北海道留萌市船場町2丁目)・延長: 約0.2km
業務内容: (1号業務) 歩道等の清掃・除草(未実施) オープンカフェの収益により消耗品等を準備し、平成30年春期に実施予定
(2号業務) 道路区域内での物販(平成29年9月9日にオープンカフェ実施)
(5号業務) 道路事業の普及啓発(未実施・冬期に実施予定)



オープンカフェの様子(平成29年9月9日)
※1号業務: 5号業務は、指定区間にて業務予定

【団体の概要・業務内容】
萌える天北オロロンルート運営代表者会議は平成20年に設置され、39団体で構成。植栽管理活動、地域情報発信プロジェクトのほか、「るしんふれあいパーク」(船場公園)付近での物販活動や道路事業の普及啓発を行う。収益により道路の維持・管理を充実。

天北オロロンルートにおきましてはオープンカフェ、やはり皆さん新しくこういうふうな道路共同団体になっていろいろな活動をするのと同時に、結構カフェをやったりとか飲食をやる例が多いですね。飲食をやると直接日銭が入りますので、そこでどのくらいお客さんが来たかがわかる、また同時にお客さんの反響がわかるんですね。その

道路協力団体活動概要(北海道開発局帯広開発建設部管内)

法人等の名称: 十勝シーニックバイウェイ
十勝平野・山麓ルート代表者会議

指定区間: ①国道38号 124-100~124-200(北海道 十勝郡利尻町字新内西1丁目)・延長: 約0.1km
②国道38号 126-190~126-200(北海道 十勝郡利尻町字新内西1丁目)・延長: 約0.1km
③国道24号 19-400~19-500(北海道 十勝郡利尻町字新内西1丁目)・延長: 約0.1km
④国道274号 213-300~213-400(北海道 十勝郡利尻町字新内西1丁目)・延長: 約0.1km
⑤国道242号 90-100~90-200(北海道 十勝郡利尻町字新内西1丁目)・延長: 約0.1km
⑥国道24号 44-600~44-800(北海道 十勝郡利尻町字新内西1丁目)・延長: 約0.1km
⑦国道273号 39-200~39-300(北海道 十勝郡利尻町字新内西1丁目)・延長: 約0.1km

業務内容: (1号業務) 道路沿道での植樹及び維持管理
(2号業務) 除雪ステーションでの物販(収益活動)



①: 道路沿道での植樹及び維持管理
②: 除雪ステーション(上士幌町)での物販(調整中)

【団体の概要・業務内容】
十勝シーニックバイウェイ 十勝平野山麓ルート代表者会議は平成21年に設置され、45団体で構成。道路沿道への植樹及び維持管理のほか、ルート内の花植活動を実施。収益により道路の維持・管理を充実。

の場でどうだったこうだったというお話を聞けるのは飲食をやるのが一番手っ取り早いので、アンケートをとるよりも飲食をしてそこにいる方にインタビューしたほうが、実際の雰囲気というのはよくわかりやすいということはございます。十勝なんかもそうでございますね。

**シーニックバイウェイ北海道取り組みの心得
シーニック10箇条**

- ◇楽しくなければ継続できない!
- ◇「この地域をどうしたいか」自ら考えよう!
- ◇「何をやりたいか」考え、身の丈にあったことからやろう!
- ◇顔の見える取り組みをしよう!
- ◇つながれば大きな力に! 連携を意識しながら参加しよう!
- ◇他の活動をよく知ろう! できれば誉めよう! (批判しない)
- ◇使えるものはなんでも使おう! 地域資源、行政、企業...
- ◇気長に取り組み、次世代に引き継げる地域にしよう!
- ◇地域が元気になるビジネスチャンスを作ろう!
- ◇.....(地域の個性に合わせて考えてみよう!)

このようにシーニックバイウェイ北海道の取り組みというのは楽しくなければ継続できない。これ一番大切なのは継続できるかどうかということなんです。どんなものもそうですけれど、最初に立ち上げるのはみんな簡単にいくんですね。立ち上げるのは熱気があります。立ち上げの費用というのはなんだかんだ言っても賄うことができる。問題

はそれをいかに継続維持していくかということなんです。継続維持のためのお金というのはほとんど出てきません。なぜかという補助金にしても何にしても継続維持には全然つきませんよね。まず最初の立ち上げだけだと思います。その立ち上げている最中に、では、その後どういうふうなこれを継続維持していくかということを考えながら活動していくというのが一番普通なんです、時々それを忘れて1回限りになってしまう場合も多分にあります。シーニックバイウェイ北海道に関しましては、絶対1回限りにしないと最初

から決めて、どうやって継続するかと考えたときに、やっている人たちが楽しくなかったらやらないよねと。やっている人たちが自分が楽しいと思ったらやっていこうと。お金がなければ何とか工面することを考えるだろうという形がありましたので、楽しくなければ継続できないというのはとても大きいです。

そして、この地域をどうしたらいいかみずから考えよう。何をやりたいか考え、身の丈に合ったできることからやろう。やりたいことはいっぱいあります。お金も人もいれば何でもできるはずですが、でも、自分たちの身の丈に合ったところからやらない限り、先ほどの継続はできません。顔の見える取り組みをしよう、お互いがわかっているからこそお互いが知り合っているからこそつないでいかれるというということです。つながれば大きな力に、連携を意識しながら参加しよう。他の活動をよく知ろう。できれば褒めよう。批判しない。まず批判なし、まず褒めるが最初、いいことやってるね。うちもやってみたいよ



というところから連携をしていき、他の地域との連携もさらにやっていこうと。使えるものは何でも使おう。地域資源、行政、企業、本当に使えるものは何でも使います。ですから必要な補助金は経済産業省の補助金を持ってきましたというところもございます。何でもいいんです。使えるものは、その地域のためになるものであれば。なぜか



というと、動いているのは地域住民の方です。先ほどからも言っていますように、主役は地域住民の方です。地域の人たちが地域のためにやっていると、それを行政が支援していくという形になっています。気長に取り組み、次世代に引き継げる地域にしよう。地域が元気になるビジネスチャンスをつくろう。そして、地域の構成に合わせて考

えてみよう。隣がこうだからうちもこう、違います。うちのうち、隣は隣、それぞれ地域が違います。住んでいる人間が違います。自分たちが誇れる、自分たちの町をいかによくしていくかということを考えていこうというのが、北海道のシーニックバイウェイの取り組みの心得でございます。



そして、今現在、この徳合の中心になっている人がやっていたらしゃるのが、自分の住んでいるおうちが築80年の古民家なんです。その古民家の中に、自分の隣にしだれ桜が物すごく見事なのがございます。そこを4月に、枝垂れ桜の花街道をめぐるハイキングという形でやったんですね。一般公募して皆さんに来ていただくと。立ちどまる

風景と。古民家ギャラリー。2つ古民家があって、そっちがギャラリーになって、飲食もできるようになって、演奏会をやったりとか、餅つきをやったりとか、ハイキングをやったり、年に1回4月にずっと毎年毎年やっている。私はここに植樹した自分が名付けた臼井ザクラというのがあるので、それを毎年毎年見に行くのを楽しみにしているという感じです。



ここが、うみてらす名立というのと、マリンドリーム能生という2つの道の駅に挟まれたところがございます。このマリンドリーム能生というところと連携いたしまして、特産品の販売を行っているんです。これを徳合で採れたメロンからお米からいろいろな農産物を能生で売りながら、実際のハイキングのときにはバスを仕立ててもらって、

名立と能生とそれから徳合を結ぶことによって、お客さんがいろんな形で来てもらえるようにする。新潟新聞がそれを取り上げてくれて、新しい観光ツアーができてしまったと。もう4月になると、これで大忙しになっています。

そういう形で、塚越さんという、これをやっている人物は、もう地域のために、地域をどういうふうにしていったら元気になるかということで、自分ができることはやっぱりある一定のことしかできないので、みんなのためにやっていくためには仲間をふやさなきゃいけない。だから地域の区民だとか、町長さんだとか、区長さんだとか、昔ながらの方たちを全部入れながら、みんなの意見を聞きながら、さあどうやって新しくこの地域を元気にさせていくかということ、常日ごろ考えながらやっております。それを私たちも支援しながら、私も年に1回か2回は必ず行って、これはこうしたほうがいい、ああしたほうがいいというアドバイスをし、実際に移住してきた方が飲食店の喫茶店を開いているので、

そこでまた新しくメニューをふやすとか、いろいろな取り組みを行っております。

というわけで、大忙しでシーニックバイウェイ北海道と日本風景街道の事例を見てまいりました。これから、地域活性化についてちょっとお話しさせていただきたいと思います。

地域活性化とは

産業が興り、雇用が増え、地域の所得が増えて、生甲斐を感じ、いつまでも住み続けたいと思う地域づくり、そして、そこに住んでいることが誇りとなるような地域づくり

現実には

- ・ 精神論だけでは続かない
- ・ 経済効果をもたらす施策が絶対に必要
- ・ 人材育成が要

71 All Rights Reserved. Copyright © 2019

地域活性化と一般に言われておりますが、地域活性化というのは、産業が起こって、雇用がふえて、地域の所得がふえて、生きがいを感じていつまでもそこに住み続けたいという地域づくり。本当に住んでいることが誇りとなるような、住民がそういうふうにするような地域づくりをしていかなきゃいけないんですね。とはいえ、現実的に精神論

だけでは続きません。経済効果をもたらす施策が絶対に必要になってまいります。と同時に人材育成がとっても要になります。お金がなきゃできないし、人材育成ができないと後に続かない。これがもう本当ポイントになります。皆さん御存じでしょうが、聞いたことがあると思いますが、徳島県の上勝町、葉っぱビジネスで有名ですよ。刺身のつまなんかに使われている葉っぱ、あれを集める老人の人たちが、みんな高齢者の方が集めて、あれをビジネスとして会社をつくってもうけていると。1,000万円以上稼ぐおばあちゃんたちが6人ぐらいいます。もう1,000万円以上稼ぐおばあちゃんたちには孫が寄って来ます。本当に。毎回来るたんびにお小遣い頂戴というのがありますから、もうおばあちゃんは大きな顔をしてばしばし働いています。あそこには老人のセンターというか、いわゆる老人ホームがなくなりました。みんな山に入って元気に葉っぱを取ってくると足腰が丈夫になる。病気の予防にも役立つんですね。だから老人ホームに行くよりも、皆さん仕事をしたいという方たちがふえてきているんですね。ただ、あそこも高齢者ばかりですので、その後を継ぐのがないということが問題になっております。

これと同じように、私が北陸風景街道に入ったのは、山古志の中越の地震があったときでした。山古志の中越の地震があったときに、北陸風景街道、よりみち街道中越というのをつくりました。そのときにおばあちゃんたちが、いろんな形でお小遣いを稼げるような仕組みをつくりたいと。だから、道端で農産物を売って、買ってもらって、1日に1,000円にもならないかもしれないけど、その1,000円が毎日毎日積もっていくと、孫に小遣いがやれると。そういうふうにして、自分がちゃんとやっていることがお金に変わるということをやらないと、ボランティアでずっとやっていたのでは、途中で気持ちがあ

いってしまうと。なかなか長続きせず疲弊してしまうと。ということは、いかにどんな形でもいいからお金を稼ぐ仕組み、それを地元に残していかなきゃいけないんだというのをすごく感じたわけです。

地域活性化戦略の概要	
戦略メニュー	概要
(1) 移出化戦略	域外から所得を稼ぐ
(2) 域内所得循環化戦略	所得を逃がさない
(3) 域内需要創出戦略	域内で需要を創出する
(4) 技術連携ネットワーク	技術ネットワークを促進する
(5) IT活用戦略	ITを活用して産業興しを進める
(6) 新産業創出戦略	新しい業態の産業を創出する
(7) 人的資本充実化戦略	人材開発などにより人的資本を充実する
(8) 対内直接投資積極化戦略	域内への海外企業による投資を促進する
(9) 総合地域経営戦略	地域特性を踏まえ、上記を組み合わせと体制・仕組みづくり

地域活性化戦略と呼ばれているものの概要は、こんなものがございます。移出化戦略というのは、域外から所得を稼ぐ。まさに、企業誘致とか観光、外国の観光客をこちらに取り入れるというやつです。交流とかいう形はこれに当たると思います。域外の所得循環化戦略という、所得を逃がさない。外に出ていくやつをストップする。そのため

にはどうしたらいいか。例えば、商品券とか何かありますね。あれはもう絶対に中で使わない限り、外にはお金は出ていかないわけです。そういう形で、地域通貨もそうですが、お金を地域に残しておく。域内の需要創出戦略、域内で需要を創出する。これに関しましては、PPPというパブリックプライベートパートナーシップという形で、官民協働という事業がございます。これに関しては、もともと行政がやっていたものですが、それは民間がやってもおかしくないよというものは、民間にどんどん渡してしまうと。その仕事は行政から民間に渡りますが、実際にその中で新しく需要が出てきて、民間企業が潤うことによって地域が元気になると。そういうような考え方です。後は、技術連携ネットワークだとか、ITの活用戦略だとか、新産業創出戦略、人的資本、いろいろございますが、IT活用戦略というのはうまくITを活用していくというのは、たくさんあると思いますし、道路なんか最近ではドローンを使うとか、いろいろなICTを使うとか、いろんな形で、進化した形での維持管理というのを目指しているところがございます。そういうのも全て、一つだけではうまくいかないんですね。地域活性化というのは、この一つだけを

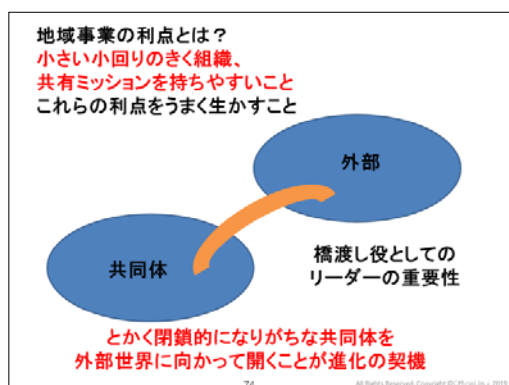
使うわけではなく、幾つものものを組み合わせてやっているわけです。だから、その地域によっては1番もやって、3番もやって、7番もやって、8番もやってという形で複数同時進行でやることによって、地域活性化というのが1つずつ形になってきているという状況でございます。

産業間の連携で、昔は農林水産業、工業、産業、

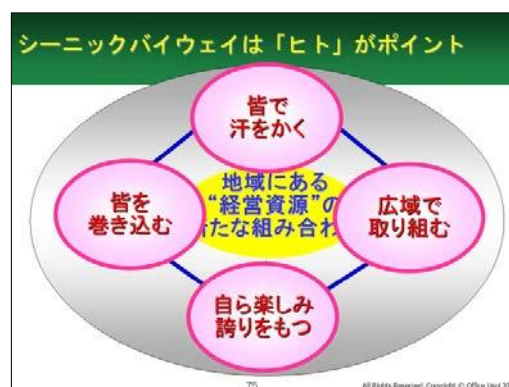
産業間の連携					
・どのようにして分野を超えた取組を具体化できるか					
	農林水産業	工業	商業	サービス	観光
農林水産業					
工業					
商業					
サービス					
観光					

農工商連携をはじめとして、地域の課題を解決するための多角的連携の推進

サービスとか全部ばらばらに動いておりました。今は、農林水産業と観光が手を結ぶ。だからいちご農園でいちごをつくって販売しているだけではなく、そこにいちご狩りができる農園という機能を持たせて人に来てもらって、そこで食べてもらって、余ったいちごでつくったいちごジャムを買ってもらって、その周りにある施設で遊んでもらうみたいな形で、できるだけいろいろな事業がお互いに手を結んで、農商工連携を初めとした地域の課題を解決するため、多角的な連携、これがとっても必要になってきています。だから観光と商業、観光と工業、観光と農林水産業がどんどん結びついてきます。国土交通省のマンホールのバッジを集めるなんていうのも、まさに昔は考えられなかったわけですが、あれも観光の中に入ってくるわけですし、ダムの見学だったり、それから港湾の見学だったり、空港もそうですよね。今まで行ったことないけど、実は知りたかった裏側の世界みたいのがやたらはやっていますので、こういったものをうまく活用していくと、そこでしか見られないものが見られるというのはとても大きなヒントになるかと思われま



地域事業というのは、小さい小回りのきく組織、それから共有ミッションを持ちやすいこと、これらの利点をうまく生かすことが必要になってまいります。先ほどもシーニックバイウェイ北海道とか、日本風景街道で御紹介した民間団体というのは、観光協会や行政もおりますが、中には地元



の、例えば園芸屋さんとか造園業をやっている方、バス会社の方、何の方、かんの方、いろんな民間企業さんがいらっしゃいます。それぞれはそれぞれで独立していますが、手を結ぶことによってどんどん広がりが出てまいります。その手を結ぶためには、やはりどこか地域でのリーダー格の方がが必要です。私が今まで見ている中で、リー

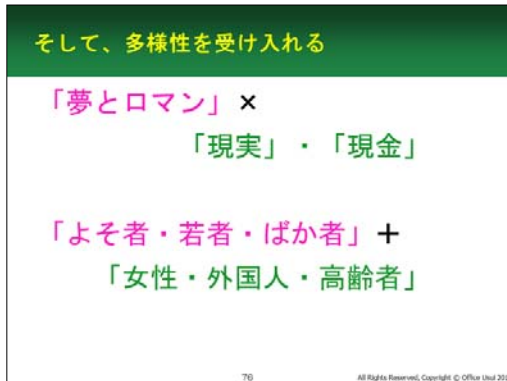
ダー格の人ってどういう要素が必要かなというふう感じたのは、北海道ですごくいいリーダーがいるんです。そのリーダーの方の持ち味は絶対自分がしゃしゃり出ないんですね。絶対自分が、僕がリーダーだよとしゃしゃり出ないんです。真ん中に座ってはいますが、はい、この話は君がして、この話は君がして、この話は君だよねと言っているだけで、絶

対その方が後ろである意味コントロールしているかもしれないんですけど、みんなを、一緒にやっている活動団体のメンバーを主役にしてくださるんです。ですから、若い人も年をとっている人もそれぞれ自分の仕事に誇りを持って、うちはこんな仕事をしていて、こんなふうにやっていますということを声高々にお話しできるんですね。彼は会社の社長さんなんですけど、結局会社の社長業と地域のこういうリーダーとはすごく似ていると。どう似ているか。従業員をうまく生かしていかなかったら、会社もだめですよ。従業員のいいところを全部引っ張り出して、そのポテンシャルを引っ張り出して、その会社にとって役に立つように使えることが社長の役割で、地域も同じなんですとおっしゃっていたんです。だから、その辺のところを聞いて、ああ、これだったらこの方がいる限りこの地域はうまくいくだろうなということを感じました。

それと同時に、そういうことを感じさせることも必要ですが、その方が、後を継ぐ人はどうするんだと心配になるわけです、当然のことながら。まだお若いですから、まだ後20年はあるかなと思いますけれど、その間に次の人、いや、僕はなるべく早目に引退して、次の人はこの人だと決めているので彼にやってもらおうと思っていると、一回り下の方に言っていました。やっぱり最後まで居残っちゃいけないんだと、地域の場合。会社の場合には創業者だったら最後まで居残るかもしれませんが、譲るというのも大変だと思いますけれど、地域の場合はやっぱりある一定の時間でバトンタッチをして、では自分が全部そこから手を引いて何もすることがなくなるのかということ、そこは新しい役割があって、自分はまた地域の違う人たちを育てていく、違う人たちに自分が伝道師になって、この地域をよくするために君たちも一緒に参加してねということを考えていく。そんなことをするリーダーというのがとっても必要なんだなというふうに感じました。

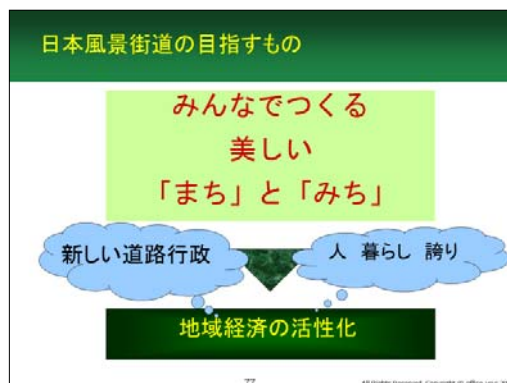
シーニックバイウェイというのは人がポイントです。地域にある経営資源をうまく組み合わせながら、みんなで汗をかいて広域で取り組んで、皆を巻き込んでいけないといけません。みずから楽しみや誇りを持つ。ここのシーニックバイウェイ北海道にかかわっている人は、みんな楽しそうな顔をしています。絶対これが仕事だと思ったらやれません。はっきり言って。だから、楽しく、自分の仕事とみんな二足のわらじ、三足のわらじです。それでもやっぱり楽しいよな、もう酒を飲みながら楽しいよなってやっている人たちは多いです。風景街道もそうです。皆さんいろんな形で楽しんでいます。私もそうですし、これにかかわっているのは結構ボランティアの部分があります。どこでも何のそのでみんな手弁当で出かけて行きます。それは、やっぱり人と人との触れ合いの中の楽しさ、なくし

てしまった、昔はいっぱいあったけど今はだんだん見つけられなくなった、デジタルではないアナログのよさというのが、まだこの中に生きているのかなというふうにちょっと感じます。



地域活性化には、夢とロマンも必要です。でも、夢とロマンをちゃんと底支えするのは現実と現金です。ちゃんとお金が回っていかないとまくいけない。現実をしっかりおさえておかなきゃいけない。でも夢とロマンは必要です。そういう中で、やっぱりかかわってくるのが、よそ者、若者、ばか者とされる。これはよく御存じだと思います

けど、昔から言われている地域活性化のよそ者、外からの視線を持っている人、つまり移住者であったり外国人だったりという形ですね。それから若者。昔は本当の若者でしたが、今は精神年齢が若い人という形になっています。精神年齢が若ければどんどん参加してくださいと。ばか者、これは熱い人です。地域に対してやたら熱い人、いますよね、どこに行っても。ばかと言われるくらい熱いと。こういう人が絶対必要ですし、それと同時に女性、外国人、高齢者、要は老若男女いろんな方たちが、異なる人たちがいるからこそ、それぞれのよさが出てくる。それが個性になって、その地域地域の個性になっていくんだと思います。つまり、全部同じ人たちででき上がっていたら何の変哲もなくておもしろくない。例えば、ユニクロだとか、ナショナルチェーンと呼ばれているお店が、もう日本全国を制覇していきますよね。そうすると、ある一つの駅の周りに全部ユニクロも何もかもあります。そろっています。困りはしないけど、その土地のよさは全然なくなるわけです。次の場所に行ったときに、やっぱりユニクロじゃなくて何かここ特有の物のお店があると、すごくうれしい気がします。地域ってやっぱり全部同じになって、同列になってしまっ



はいけないんだと思います。それぞれのよさをちゃんと大事にしながら、自分たちで磨いていく、そこがとっても必要なのではないかなというふうに思います。

日本風景街道の目指すものとしては、みんなでつくる美しい道とまち。結果として地域経済を活性化すること。新しい道路行政であり、人と暮ら

しと誇りがあること、というのが日本風景街道が本来目指しているものではないかなというふうには思われます。

特定非営利活動法人 日本風景街道コミュニティ
- Scenic Byway Community Japan -

HPアドレス: <http://sbcj-community.org/>

～目的～
日本風景街道の登録団体とそれに参加する活動主体の自立と活動の充実・発展に寄与する。
また、登録団体や活動主体の活動を促進し、日本風景街道の企画拡大、質の向上、運動の振興を図り、日本風景街道の目的実現に貢献することにより、地域活性化に資することを目的とする。

～全国との連携～
全国に登録された日本風景街道活動団体間の連携を図り、日本風景街道の具体的な各種事業を効果的に展開し、全国的にも全国的なネットワークを築く。今後、さらに多くの日本風景街道に取組む地域を連携・発展を促進する。

役職	氏名	所属
代表理事	石田 康生	日本風景街道振興委員会、筑波大学教授
理事	藤 文宏	一般社団法人ロードサイド開発センター代表理事
理事	石井 純子	アソシエイト代表、北陸風景街道
理事	田中 幸治	日本風景街道、海浜リゾート開発センター代表理事、NPO法人地域づくりサポートネットワーク副会長
理事	加藤 八郎	日本風景街道、つばき中心の道の駅の運営、株式会社エンジェルの代表取締役
理事	吉武 健佳	日本風景街道、日暮さのまきライン、九州工業大学教授
理事(事務局)	矢野 智	株式会社道路情報研究所、総合編集者
理事(事務局)	山内 秀徳	NPO法人地域づくりサポートネットワーク 代表理事
理事(事務局)	芝崎 祐	一般社団法人道路整備技術センター
監事	谷藤美久子	南信州地域シーニックバイウェイ推進協議会事務局

この後、私が御紹介したいのは、日本風景街道コミュニティというものです。これは、こういったシーニックバイウェイ北海道や日本風景街道に対していろんな支援をしていこうよと。我々もできることをやっていきたいねということで、日本全国から集まりました。代表理事は石田先生です。それから理事に原さんと言うのは、北海道のシー

ニックバイウェイの支援センターの代表者です。北陸に関しましては私がやっております。それから、あと田中さんは静岡県の方です。それから、郷原さんは、これは松江の方ですね。だから、みんなそれぞれ地域がございます。それぞれの地域については、それぞれこの人たちが知っているよみたいな形で集まりまして、年に1回、日本風景街道大学というのをやっております。

特定非営利活動法人 日本風景街道コミュニティ
- Scenic Byway Community Japan -

HPアドレス: <http://sbcj-community.org/>

当法人の主な取組として、以下のことを実施しています。

●日本風景街道のさらなる推進や各風景街道間の情報共有等を目的として、日本風景街道大学を開催しています。風景街道大学では京浜・本校として、毎年、定例で開催される他、平成26年から各地の持ち回りで、分校を開催しています。

～実績～

- 京浜線・毎年開催
- 日本風景街道大学
- 平成26年2月14日・15日
- 日本風景街道大学「ふしのくに静岡校」(静岡県)
- 平成26年11月7日・8日
- 日本風景街道大学「藤のくに長根校」(松江市)
- 平成27年11月6日・7日
- 日本風景街道大学「白川郷・五箇山校」(岐阜県白川郷・富山県南砺市)
- 平成28年12月9日・10日
- 日本風景街道大学「ふたば京浜校」(佐賀県)
- 平成28年12月27日・28日
- 日本風景街道大学「珠洲校」(珠洲市)
- 平成29年10月20日・21日
- 日本風景街道大学「七戸小校」(静岡県)

79 All Rights Reserved, Copyright © OFFICE CHU 2019

この法人がいろんな取り組みをやっている中で、皆さんに、全国の方々に日本風景街道というのを知ってもらいたいと。日本風景街道の中でどんなふうにしていけば、今後これが発展していくかということを考えていこうと、最初に宮崎県で開催しました。そちらを本校として毎年やっています。宮崎とは別に、日本風景街道大学を開催していま

して、今年は北海道、ニセコでやりました。来年は2021年の2月に愛知県の田原市でやることになっています。その土地土地の風景街道の皆様方と、地方整備局の皆様と一緒に、日本風景街道のあり方だとか、これから課題になってくる、例えば後継者の問題だとか、どんなふうにしていったらいいのかという勉強会を開いたりとか、そういうことをやっております。



また、同時に日本風景街道自治体連絡会というのをやっております。これは、毎年風景街道大学の開催地の市長さん、首長さんが集まりまして、最初この日本風景街道のサミットというのが、群馬県の嬭恋村で行われました。嬭恋村の村長さんが言い出し人、発起人になりまして、自治体連絡会というのをやっています、今自治体の首長さん

が結構な数入っていらっしやいます。そういう方たちが年に1回来て、風景街道についてどんなふうにやっていったらいいか、今後どんなふうに考えたらいいのかというのをやるとともに、みちのコミュニティ・シンクタンクをつくったり、我々のできることを手弁当でやろうということで、私もそうですし、参加しているそれぞれの方、風景街道、それからシーニックバイウェイ北海道だけではなく、ほかの本来の仕事もございますので、そういう中で得たノウハウをここの中に持っていきながら、風景街道とシーニックバイウェイ北海道が繁栄していくように、どんなふうにやっていこうかということをいろいろと模索している状況でございます。

みちのコミュニティ・シンクタンク、この中に今サイクルツーリズム研究部会というのがあります。互産互生、特産品の部会だとか、それからサイクルツーリズムの研究部会だとか、道路空間再配分の研究部会とか、いろんな研究部会があります。皆様御興味がある方は、一度こちらのほうにアプローチしていただいて、こういうところに入っているいろんな話を聞いてみるということもありますし、日本風景街道大学に参加して御意見をいろいろ言ってくれるというのものもあると思いますし、いろんな形で風景街道とかそういったものにかかわっていくと何をやっているのかわかるし、あと同時に、私、最初にこういうのをやったときに、一番ベストなのは、自分が引退したときにその後何をするかを考えて行動することじゃないというふうに言ったんです。私もそうですが、引退した後に何にもしないでいるなんて耐えられません。毎日毎日うちにいるなんて耐えられない。自分にやれる生きがいづくりができるというのは、すごく大きいことです。しかも、それが自分の地域だったらもっと大きいんです。地域をよくしていく形によって、地域の人たちと知り合えます。女性の方は、もともと地域に入っているのでもあまり違和感がないんですが、男性の場合は、地域に戻るときに「お父さんお帰りなさい」という、武蔵野市でそういうプログラムがありました。それは、地域に戻ってきたお父さんたちが、地域にどうやって入っ

ていいかわからないというときに、そこが一つのきっかけになって地域に入れるようにという形で、武蔵野市でつくったものなんですね。でも、何かおかしいなと思う反面、ああ、でもお父さんはずっと忙しくお仕事していたから、確かに地域とは接点がなかったなという感じもするんです。

これから先、今時代がどんどん変化して行って高齢社会にもなりますが、と同時に、やはり家族愛だとか地域の愛だとか、そういったものが問われるような時代になってまいりました。すごくデジタル、デジタルというふうに進んでいた後に戻ってきたのが、テレビを見ても何を見ても家族愛です。そういったものを強調しているような世界に戻ってきました。そういう中で、やっぱり地域の中で生きるというのも一つの選択肢だと思いますし、そういったものを今からやっても遅くないよということを考えたときには、日本風景街道を歩いてみる、旅してみるという中で、自分で体験してみると、あっ、これってもしかするとやれるかなという感じがしてまいります。

と同時に、高知県で長年人材育成に携わってまいりまして、非常に感じているのが地域活性化をやる、人材育成、もちろんその地元の人を育成していくというのもとっても大切なんですが、一方で、定年退職なさった後に皆さんの技術を持って地域に移住していただきたいなと私は思います。皆さんの持っている東京での技術というのは、すごいものだと思います。地域においては、使えないもの、もともと全然ないものが多いんですね。だから、そういった技術を生かせるところというのは、東京ばかりではなく地域のほうに行ったときこそ生かせるものというのが多分にあります。例えば、高知県なんかで移住者に来ていただいたらそこで勉強をしていただいて、県の支援も持って新しく事業を始めたいという方を応援しますとか、そういった取り組みが高知だけではなく日本全国47都道府県、みんな競うようにやっています。そんなに一生行こうなんて思わなくてもいいんです、移住といっても。ある意味、私は、ある定年した後の何年間、そこで地域に行ってみて、あわなければ帰ってくればいいと。二地域居住ですよ。ただ、二地域だけど一つの地域にちょっと長目にいるみたいな形。移住の場合でもよく言われているのが、二段階居住とか二地域居住といわれるんですね。二段階居住というのは、まず本当に自分が山村のすごいところに行ってみたいなと思ったら、最初からそこに行ったらすぐ失望して帰ってくる可能性が高いから、まずは高知なら高知市に行って、市内のマンションに住んで高知というものを知ってみましょうと。その間に四万十に行ったり何とかいろいろ行ってみるわけですね。そこで合ったなと思ったら、四万十に何年後に行くというやり方を皆

さん推奨しております。これが二段階移住です。二地域居住というのは、自分の持っている拠点と、あと別なところとを行ったり来たりというやつですよ。もう一つは、私はある一定期間移住というのがあったらいいと思っているんですね。まだ元気で、まだいろんなことができるし、頭もぼりぼり、もっと自分の力を使いたいと思ったら、もうそれが定年のときなのか、人によってはもうちょっと前かもしれないけど、何年間かそこに住みながら自分で仕事がやれるかどうかを試してみると。その仕事がうまくフィットしたらそこにずっといけばいいし、嫌だったら帰ってくるもよしと。そういうような、何かもうちょっと自由に発想をしていくと、結果としてその皆さん方の持っているスキルが地域に散らばっていくわけです。地域が一番足りないのはスキルなんですよ。

例えばインフラにしましても、いろんな維持管理が必要になってくるのは東京ばかりではございません。いろんなメンテナンスにしても、地域のほうで非常に必要になってまいります。施設の、例えば維持管理というのもありますし、物によってはそれをやめることも考えなきゃいけない。またその施設をどういうふうにかかしていかと考えるときに、東京もんの目で見ると、また全然変わってくるんですね。地域では、地域の常識でものを見ていますので、そういう意味では、外から行ったよそ者の目というのがとても生きてくることになるわけです。それを試すのは、今皆さんが地域にちょっと足を伸ばすというのも、一つのやり方ではないかなというふうに思われます。

だから、こういったシーニックバイウェイ北海道もそうですし、日本風景街道もそうですし、今いろいろ取り組みとして行われている日本中のイベントとか何かというのも、もしかするとそれに参加して楽しむことと同時に、自分の人生の中で、これがどんなふうな位置づけにあるのかなと考えると、これから先の人生が、不安が多い日本です。もう人生100年時代で、幾ら足りないとかそんなことばかり言われています。でも、逆にそれなら自分の人生、好きに生きていいんじゃないのと私は思ったりするわけですね。同じ人生なら、心ゆくまで納得して生きる人生を生きたいなと思って、私にとっては地域は第2のふるさとです。最初にスタートしたのも第2のふるさとづくりをやりたいなということでスタートしましたが、今、第2のふるさとがだんだんできてきたんですが、たくさんありすぎて困っています。もうあちらこちらと旅しながら行かれるのは、本当に幸せかなというふうに思いますが、地域活性化というのは頭ではわかって、なかなか現実的に動いていかない地域の中でのトラウマみたいなものもございますので、それをどうやって解きほぐして、商品になるものを探して、皆さんに提示していくかという形ですので、

本当にここにいらっしゃる皆さん一人一人の御尽力というか、御協力が必要だと思われま
すので、今後ともシーニックバイウェイ北海道、北海道にいらっしゃいましたら、ここは
シーニックバイウェイ北海道のどこに当たるのかなと見ていただきたいし、日本風景街道
にしても旅行したときに日本風景街道を走ってみよう。1回ホームページを出かける前
に見ていただくだけでプラスになるのではないかなというふうに思われますので、どうぞ
よろしくお願ひしたいと思ひます。御清聴どうもありがとうございました。

